

企業物流短期動向調査（日通総研短観） 調査結果

（2009年9月調査）

2009年10月

株式会社 日通総合研究所

ホームページはこちら

<http://www.nittsu-soken.co.jp>

目次

I. 調査の内容.....	1
II. 調査の結果.....	3
1. 国内向け出荷量の動向	3
2. 輸送機関利用の動向	7
(1) 一般トラック	8
(2) 特別積合せトラック	9
(3) 宅配便	10
(4) 鉄道コンテナ	11
(5) 内航コンテナ	12
(6) 国内航空	13
3. 輸出入貨物量の動向	14
(1) 外貿コンテナ ー輸出ー	15
(2) 外貿コンテナ ー輸入ー	16
(3) 国際航空 ー輸出ー	17
(4) 国際航空 ー輸入ー	18
4. 在庫量と営業倉庫利用の動向	19
(1) 在庫量 ー原材料ー	20
(2) 在庫量 ー製品ー	21
(3) 営業倉庫保管量	22
5. 運賃・料金の動向	23
(1) 一般トラック運賃	24
(2) 特別積合せトラック運賃	25
(3) 鉄道コンテナ運賃	26
(4) 内航コンテナ運賃	27
(5) 国内航空運賃	28
(6) 営業倉庫保管料金	29
6. 物流コスト割合の動向	30

I. 調査の内容

目的 : 本調査は、足もとの出荷状況等を各企業（事業所）の物流担当者に直接回答していただくことで、荷主企業の物流動向について業種横断的かつ包括的な情報を、データの形で迅速に公の場に提供することを目的として実施するものである。

方法 : 本調査はアンケート方式により、四半期ベース（3月、6月、9月、12月の年4回）で実施する。

調査項目は次のとおりであり、当期実績見込みと次期見通しを対前年同期比「増加する」、「横ばい」、「減少する」もしくは「値上り」、「変わらない」、「値下り」等の3つの選択肢の中から選択回答する。

1. 国内向け出荷動向
2. 輸送機関別利用動向（一般トラック、特別積合せトラック、宅配便、鉄道コンテナ、内航コンテナ、国内航空）
3. 輸出入貨物の動向（外貿コンテナ、国際航空）
4. 在庫量（原材料、製品）と営業倉庫利用の動向
5. 運賃・料金の動向（一般トラック、特別積合せトラック、鉄道コンテナ、内航コンテナ、国内航空、営業倉庫保管）
6. 売上高に対する物流コスト割合の動向

集計は、調査項目ごとに各選択肢の回答事業所数を集計し、その合計事業所数に対する割合を算出、以下により動向判断指標^(*)とする。

$$\text{動向判断指標} = \left[\begin{array}{l} \text{「増加する（値上り）」と} \\ \text{回答した事業所割合} \end{array} \right] - \left[\begin{array}{l} \text{「減少する（値下り）」と} \\ \text{回答した事業所割合} \end{array} \right]$$

なお、この指標は荷動き等に対する各事業所の（定性的な）動向を集約するものであり、この結果がそのまま全体としての（定量的な）出荷量などの増減を意味するものではない。

(*) 動向判断指標：本調査では、調査項目に応じて『荷動き指数』、『運賃動向指数』等の名称を付している。

調査対象 : 製造業、卸売業の主要2,500事業所を対象とする。

－今回調査の回収・集計状況－

今回調査は、2009年7～9月の実績と2009年10～12月の見通しを9月初旬時点でうかがったものであり、1,087社からご協力をいただき、回答率は43.5%となった。

なお、業種別にみた調査対象企業数、回答企業数ならびに回答率は、次表のとおりである。

調査対象企業数と回答企業数

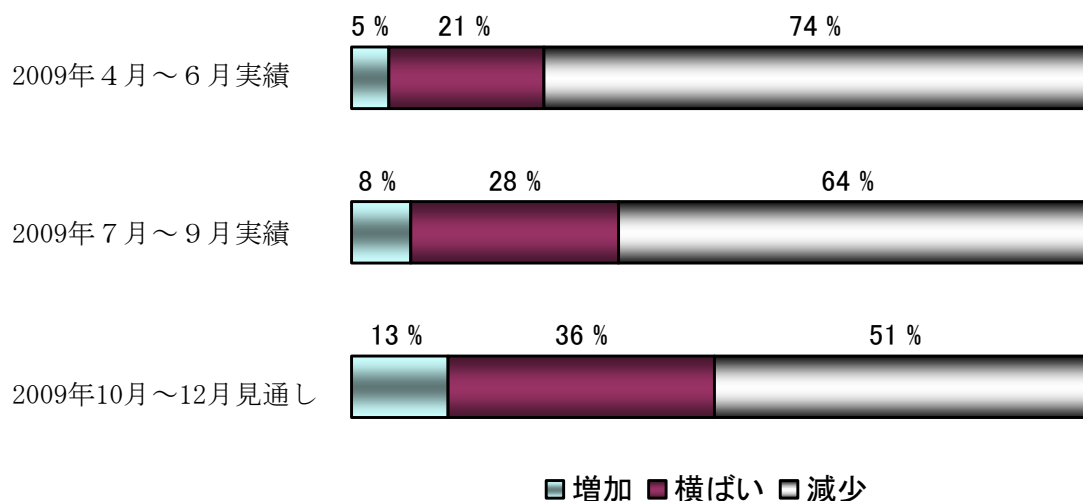
	業 種	調査対象 企業数	回 答 企業数	回答率(%)
製 造 業	食 料 品 ・ 飲 料	232	106	45.7
	繊 維 ・ 衣 服	111	49	44.1
	木 材 ・ 家 具	96	42	43.8
	パ ル プ ・ 紙	107	47	43.9
	化学・プラスチック	238	117	49.2
	窯 業 ・ 土 石	102	49	48.0
	鉄 鋼 ・ 非 鉄	196	101	51.5
	金 属 製 品	128	57	44.5
	一 般 機 械	222	93	41.9
	電 気 機 械	333	133	39.9
	輸 送 用 機 械	250	102	40.8
	精 密 機 械	67	28	41.8
	そ の 他	167	58	34.7
	計		2,249	982
卸 売 業	生 産 財	124	55	44.4
	消 費 財	127	50	39.4
	計	251	105	41.8
合 計		2,500	1,087	43.5

Ⅱ. 調査の結果

－ 1. 国内向け出荷量の動向－

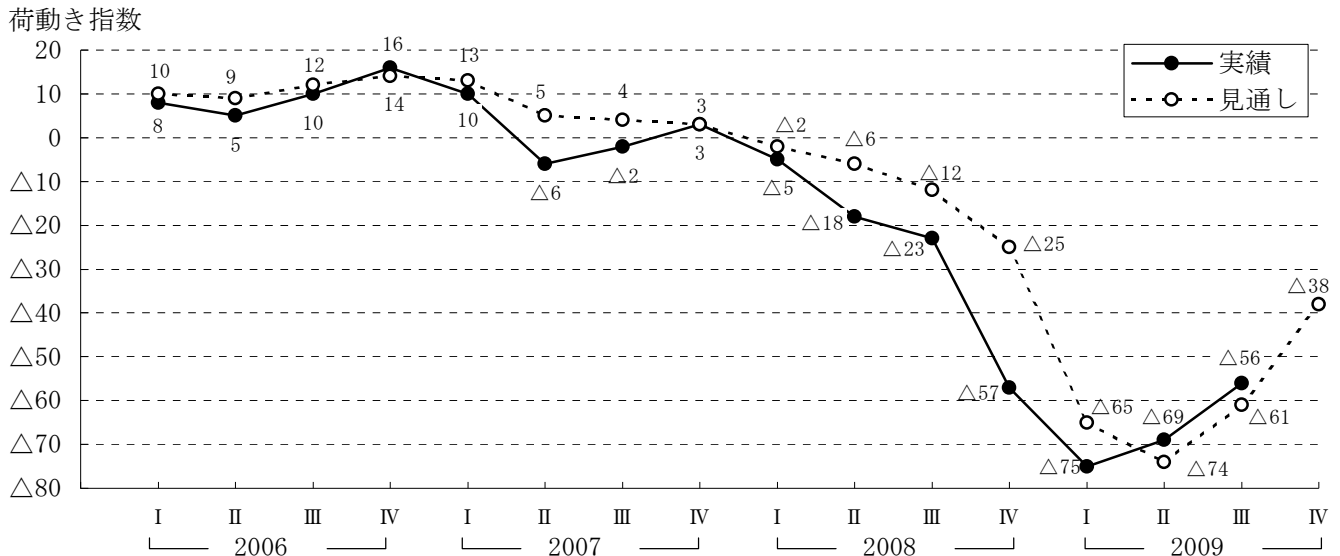
- 7～9月実績（見込み）における国内向け出荷量の動向をみると、前年同期比で「増加」との回答が前期（4～6月）実績より3ポイント上昇し8%となった。一方、「減少」との回答は前期より10ポイント低下し64%となり、この結果『荷動き指数』（＝「増加」の回答割合－「減少」の回答割合）は13ポイント上昇して△56となった。
- 10～12月見通しの出荷量については、前年同期比で「増加」との回答が前期（7～9月）実績（見込み）より5ポイント上昇し13%となり、「減少」との回答は13ポイント低下し51%になる。この結果『荷動き指数』は18ポイント上昇して△38と見込まれる。

国内向け出荷量の実績と見通し



■ 今回調査の『荷動き指数』を前回までの調査と比較すると、2009年1～3月実績で△75まで落ち込んだ『荷動き指数』は、4～6月実績以降は上昇に転じ、7～9月実績（見込み）で△56、10～12月見通しでは△38まで回復が期待される。このため、荷動きには持ち直しの兆しがみられるが、『荷動き指数』は依然として低い水準にとどまり、荷動きの回復には至らない。

荷動きの実績（見込み）と見通しの『荷動き指数』



注) 点線は各期に入る前の時点の見通しにおける『荷動き指数』(2009年IV期の『荷動き指数』は今回調査時点の見通し)、実線は各期の途中の時点で判断した実績見込みの『荷動き指数』(2009年III期の『荷動き指数』は今回調査における判断)。

■ 7～9月の業種別『荷動き指数』実績（見込み）をみると、すべての業種が2ケタのマイナスを示し、比較的必需性の高い食料品・飲料および消費財卸が△20台、精密機械が△32にとどまるほかは、いずれの業種も△50を超える大幅なマイナスとなった。

■ 10～12月の『荷動き指数』見通しでは、引き続きすべての業種が2ケタのマイナスを示すものの、食料品・飲料が△11まで戻すなど総じてマイナス幅の縮小が見込まれる。もっとも、一般機械、繊維・衣服および鉄鋼・非鉄では△50以下の水準が続き、依然として荷動きの減退圧力が大きい。

国内向け出荷量の実績と見通し（業種別）

業種	2009年7月～9月実績					2009年10月～12月見通し					
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製造業	食料品・飲料	105	18	41	41	△ 23	105	19	51	30	△ 11
	繊維・衣服	49	4	24	72	△ 68	49	2	43	55	△ 53
	木材・家具	42	2	31	67	△ 65	41	7	37	56	△ 49
	パルプ・紙	47	6	23	71	△ 65	47	17	30	53	△ 36
	化学・プラスチック	115	6	37	57	△ 51	115	16	46	38	△ 22
	窯業・土石	47	6	15	79	△ 73	46	20	26	54	△ 34
	鉄鋼・非鉄	101	7	14	79	△ 72	101	13	24	63	△ 50
	金属製品	56	5	25	70	△ 65	56	11	30	59	△ 48
	一般機械	92	3	24	73	△ 70	91	5	23	72	△ 67
	電気機械	132	8	18	74	△ 66	132	14	33	53	△ 39
	輸送用機械	99	6	30	64	△ 58	99	14	36	50	△ 36
	精密機械	27	12	44	44	△ 32	27	7	49	44	△ 37
	その他	58	7	21	72	△ 65	57	10	32	58	△ 48
計	970	7	26	67	△ 60	966	13	35	52	△ 39	
卸売業	生産財	55	7	35	58	△ 51	55	9	49	42	△ 33
	消費財	48	15	50	35	△ 20	48	16	42	42	△ 26
	計	103	10	42	48	△ 38	103	12	46	42	△ 30
合計	1,073	8	28	64	△ 56	1,069	13	36	51	△ 38	

■ 7～9月の地域別『荷動き指数』実績（見込み）をみると、すべての地域が△30を超えるマイナスを示した。とりわけ北海道、関東、東海および近畿では『荷動き指数』が△60台に達し、荷動きの減退圧力が大きい。

■ 10～12月の『荷動き指数』見通しでは、いずれの地域の『荷動き指数』も上昇が見込まれ、四国および九州・沖縄では△28まで回復する。しかしながら、関東、北陸・信越および近畿では『荷動き指数』は△40を下回る水準にとどまり、荷動きの回復には若干の地域差がみられる。

国内向け出荷量の実績と見通し（地域別）

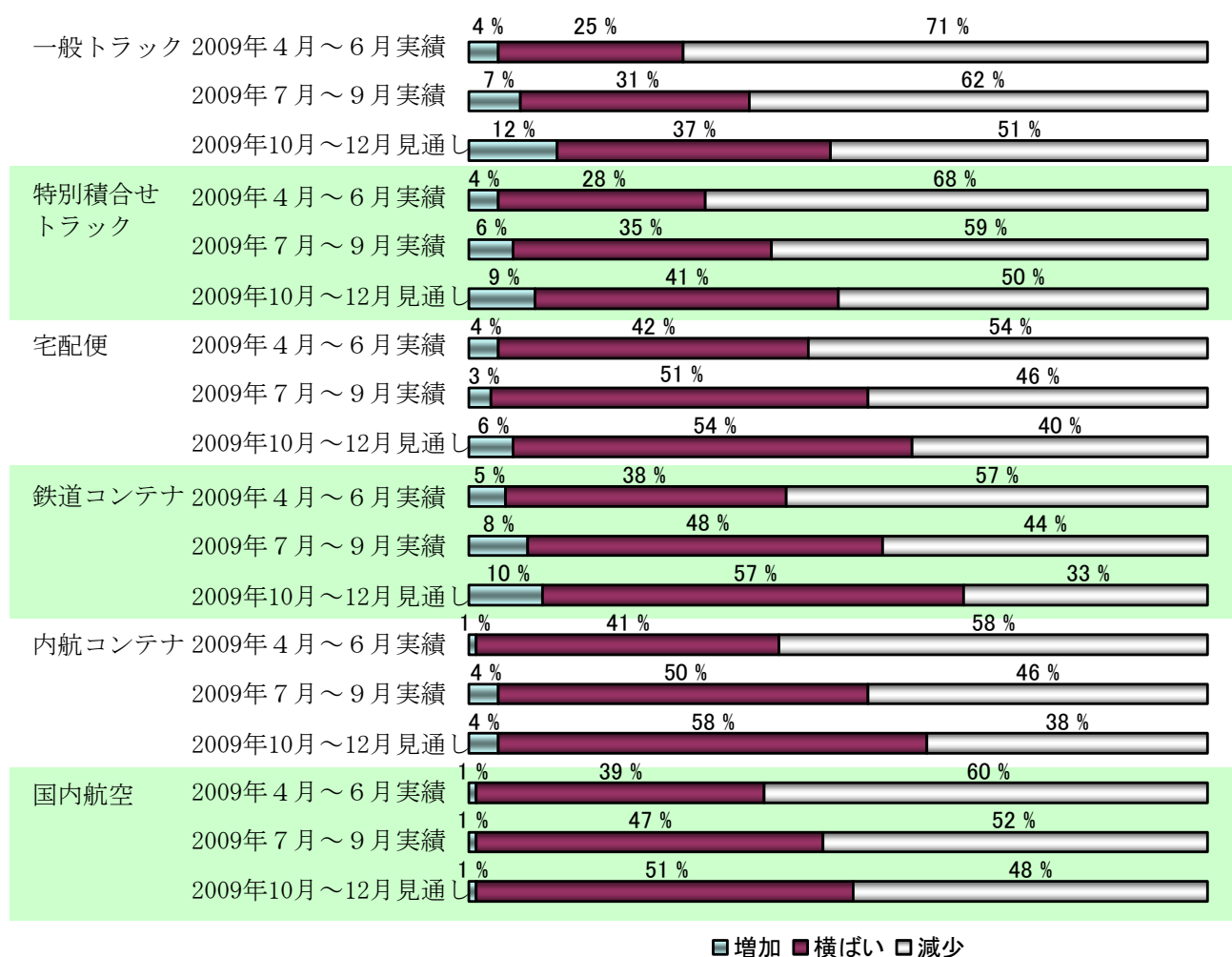
地 域	2009年7月～9月実績					2009年10月～12月見通し				
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
北 海 道	46	4	28	68	△ 64	46	13	39	48	△ 35
東 北	91	5	35	60	△ 55	91	11	44	45	△ 34
関 東	246	7	26	67	△ 60	246	11	33	56	△ 45
北 陸 ・ 信 越	119	9	27	64	△ 55	119	13	33	54	△ 41
東 海	162	8	23	69	△ 61	158	17	32	51	△ 34
近 畿	154	8	20	72	△ 64	155	9	34	57	△ 48
中 国	108	8	35	57	△ 49	108	14	42	44	△ 30
四 国	65	7	31	62	△ 55	65	15	42	43	△ 28
九 州 ・ 沖 縄	82	11	40	49	△ 38	81	14	44	42	△ 28
合 計	1,073	8	28	64	△ 56	1,069	13	36	51	△ 38

－ 2. 輸送機関利用の動向－

■ 7～9月の輸送機関利用の実績（見込み）をみると、すべての輸送機関で『利用動向指数』が△30を超えるマイナスを示したが、前期（4～6月）実績との比較では、各機関ともマイナス幅が縮小した。

■ 10～12月の見通しについては、前期（7～9月）実績（見込み）と比較すると、すべての機関で『利用動向指数』の改善が見込まれるものの、「増加」を見込む向きは少なく、当面利用の減退が続く見通しである。

各輸送機関の利用の実績と見通し



(1) 一般トラック

■ 7～9月実績（見込み）の『利用動向指数』は、すべての業種が2ケタのマイナスで、食料品・飲料、精密機械および消費財卸を除いて概ね△50を上回る大幅なマイナスを示した。業種全体の『利用動向指数』は△55で、前期（4～6月）実績からは12ポイント上昇した。

■ 10～12月の『利用動向指数』見通しでは、精密機械を除くすべての業種でマイナス幅の縮小が見込まれる。この結果、業種全体の『利用動向指数』は△39と16ポイントの改善が期待され、利用の削減圧力は次第に緩和方向にあるものの、利用回復に向けての足取りは鈍い。

一般トラック利用の実績と見通し

業種	2009年7月～9月実績					2009年10月～12月見通し					
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製造業	食料品・飲料	97	14	47	39	△25	98	18	52	30	△12
	繊維・衣服	42	2	29	69	△67	42	5	40	55	△50
	木材・家具	40	5	30	65	△60	41	10	39	51	△41
	パルプ・紙	45	4	27	69	△65	44	16	32	52	△36
	化学・プラスチック	113	8	35	57	△49	113	15	46	39	△24
	窯業・土石	47	6	19	75	△69	45	20	31	49	△29
	鉄鋼・非鉄	98	7	16	77	△70	97	12	23	65	△53
	金属製品	55	5	29	66	△61	55	9	35	56	△47
	一般機械	88	1	25	74	△73	87	5	26	69	△64
	電気機械	124	6	27	67	△61	123	11	37	52	△41
	輸送用機械	95	7	29	64	△57	94	12	34	54	△42
	精密機械	25	12	48	40	△28	25	8	44	48	△40
	その他	55	5	27	68	△63	55	9	36	55	△46
計	924	7	29	64	△57	919	12	37	51	△39	
卸売業	生産財	47	6	36	58	△52	47	8	47	45	△37
	消費財	45	17	47	36	△19	44	23	41	36	△13
	計	92	12	41	47	△35	91	15	44	41	△26
合計	1,016	7	31	62	△55	1,010	12	37	51	△39	

(2) 特別積合せトラック

■ 7～9月実績（見込み）の『利用動向指数』は、すべての業種が2ケタのマイナスを示し、とくに金属製品、衣服・繊維などの業種でマイナス幅が大きい。業種全体の『利用動向指数』は△53で、前期（4～6月）実績からは11ポイント上昇した。

■ 10～12月の『利用動向指数』見通しでは、食料品・飲料が1ケタのマイナスまで戻すなど、精密機械および消費財卸を除いてマイナス幅が縮小する。業種全体の『利用動向指数』は△41と12ポイントの改善が見込まれるものの、依然として利用の減退が続く見通しである。

特別積合せトラック利用の実績と見通し

業 種	2009年7月～9月実績					2009年10月～12月見通し					
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製 造 業	食料品・飲料	65	17	43	40	△ 23	65	17	57	26	△ 9
	繊維・衣服	40	7	18	75	△ 68	40	2	30	68	△ 66
	木材・家具	26	0	35	65	△ 65	25	4	40	56	△ 52
	パルプ・紙	28	7	36	57	△ 50	27	15	37	48	△ 33
	化学・プラスチック	98	2	47	51	△ 49	97	9	53	38	△ 29
	窯業・土石	30	3	37	60	△ 57	30	10	43	47	△ 37
	鉄鋼・非鉄	66	5	30	65	△ 60	66	6	38	56	△ 50
	金属製品	42	2	24	74	△ 72	42	10	35	55	△ 45
	一般機械	74	4	28	68	△ 64	71	4	34	62	△ 58
	電気機械	104	5	26	69	△ 64	102	14	28	58	△ 44
	輸送用機械	67	3	37	60	△ 57	66	6	42	52	△ 46
	精密機械	12	17	50	33	△ 16	12	16	42	42	△ 26
	その他	44	7	32	61	△ 54	44	6	39	55	△ 49
計	696	5	34	61	△ 56	687	9	40	51	△ 42	
卸 売 業	生産財	39	2	54	44	△ 42	39	3	56	41	△ 38
	消費財	32	12	50	38	△ 26	31	13	48	39	△ 26
	計	71	7	52	41	△ 34	70	7	53	40	△ 33
合計	767	6	35	59	△ 53	757	9	41	50	△ 41	

(3) 宅配便

■ 7～9月実績（見込み）の『利用動向指数』は、すべての業種が2ケタのマイナスを示した。業種全体の『利用動向指数』は△43で、前期（4～6月）実績からは7ポイントの上昇がみられた。

■ 10～12月の『利用動向指数』見通しでは、消費財卸を除くすべての業種で改善が期待される。業種全体の『利用動向指数』は9ポイント上昇して△34と見込まれるが、利用回復にはなお遠い。

宅配便利用の実績と見通し

業種	2009年7月～9月実績					2009年10月～12月見通し					
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製造業	食料品・飲料	75	3	69	28	△ 25	75	2	75	23	△ 21
	繊維・衣服	36	6	44	50	△ 44	36	6	47	47	△ 41
	木材・家具	35	6	43	51	△ 45	35	14	52	34	△ 20
	パルプ・紙	24	0	63	37	△ 37	23	13	52	35	△ 22
	化学・プラスチック	86	2	68	30	△ 28	86	3	71	26	△ 23
	窯業・土石	29	7	41	52	△ 45	28	8	46	46	△ 38
	鉄鋼・非鉄	57	2	51	47	△ 45	57	2	56	42	△ 40
	金属製品	53	2	43	55	△ 53	53	6	43	51	△ 45
	一般機械	84	2	39	59	△ 57	83	4	43	53	△ 49
	電気機械	114	4	34	62	△ 58	114	5	45	50	△ 45
	輸送用機械	79	3	53	44	△ 41	79	5	53	42	△ 37
精密機械	26	8	54	38	△ 30	25	16	48	36	△ 20	
その他	46	7	30	63	△ 56	45	4	40	56	△ 52	
計	744	3	49	48	△ 45	739	5	53	42	△ 37	
卸売業	生産財	43	7	67	26	△ 19	43	12	65	23	△ 11
	消費財	38	8	68	24	△ 16	37	8	65	27	△ 19
	計	81	7	68	25	△ 18	80	10	65	25	△ 15
合計	825	3	51	46	△ 43	819	6	54	40	△ 34	

(4) 鉄道コンテナ

■ 7～9月実績（見込み）の『利用動向指数』は、すべての業種が2ケタのマイナスを示した。業種全体の『利用動向指数』は△36で、前期（4～6月）実績からは16ポイント上昇した。

■ 10～12月の『利用動向指数』見通しでは、食料品・飲料が△2まで浮上するなど、全15業種中11業種でマイナス幅が縮小し、業種全体では△23とさらに13ポイントの上昇が見込まれる。この結果、鉄道コンテナは、他の輸送機関と比較すれば『利用動向指数』のマイナス幅がもっとも小さいが、利用回復には至らない。

鉄道コンテナ利用の実績と見通し

業種	2009年7月～9月実績					2009年10月～12月見通し					
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製造業	食料品・飲料	46	7	67	26	△19	46	13	72	15	△2
	繊維・衣服	13	0	54	46	△46	13	0	54	46	△46
	木材・家具	18	6	33	61	△55	18	12	44	44	△32
	パルプ・紙	27	4	33	63	△59	26	7	58	35	△28
	化学・プラスチック	76	14	39	47	△33	76	16	54	30	△14
	窯業・土石	20	5	45	50	△45	19	5	58	37	△32
	鉄鋼・非鉄	36	6	44	50	△44	36	14	44	42	△28
	金属製品	18	6	50	44	△38	18	0	67	33	△33
	一般機械	26	8	65	27	△19	26	7	62	31	△24
	電気機械	34	6	53	41	△35	34	12	56	32	△20
	輸送用機械	33	12	33	55	△43	33	12	42	46	△34
	精密機械	8	0	63	37	△37	8	0	63	37	△37
	その他	27	7	49	44	△37	27	7	56	37	△30
計	382	8	47	45	△37	380	10	56	34	△24	
卸売業	生産財	14	7	57	36	△29	14	7	64	29	△22
	消費財	13	8	69	23	△15	13	8	69	23	△15
	計	27	7	63	30	△23	27	7	67	26	△19
合計	409	8	48	44	△36	407	10	57	33	△23	

(5) 内航コンテナ

- 7～9月実績（見込み）の『利用動向指数』は、すべての業種が2ケタのマイナスを示した。業種全体の『利用動向指数』は△42で、前期（4～6月）実績より15ポイント上昇した。
- 10～12月の『利用動向指数』見通しでは、食料品・飲料が1ケタのマイナスまで戻すなど、全15業種中11業種でマイナス幅が縮小しよう。業種全体の『利用動向指数』は8ポイント上昇して△34と見込まれるが、荷動きは引き続き減退する見通しである。

内航コンテナ利用の実績と見通し

業種	2009年7月～9月実績					2009年10月～12月見通し					
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製造業	食料品・飲料	31	12	65	23	△11	31	10	71	19	△9
	繊維・衣服	10	0	40	60	△60	10	0	40	60	△60
	木材・家具	11	0	36	64	△64	11	0	55	45	△45
	パルプ・紙	13	0	46	54	△54	12	0	58	42	△42
	化学・プラスチック	47	11	57	32	△21	48	10	65	25	△15
	窯業・土石	17	0	35	65	△65	16	0	50	50	△50
	鉄鋼・非鉄	24	8	50	42	△34	24	8	54	38	△30
	金属製品	15	7	40	53	△46	15	0	47	53	△53
	一般機械	25	4	48	48	△44	25	0	60	40	△40
	電気機械	25	0	44	56	△56	25	4	44	52	△48
	輸送用機械	30	0	40	60	△60	30	3	57	40	△37
	精密機械	5	0	60	40	△40	5	0	60	40	△40
	その他	19	0	47	53	△53	19	0	63	37	△37
	計	272	4	49	47	△43	271	4	58	38	△34
	卸売業	生産財	12	0	50	50	△50	12	0	58	42
消費財		9	0	78	22	△22	9	0	78	22	△22
計		21	0	62	38	△38	21	0	67	33	△33
合計	293	4	50	46	△42	292	4	58	38	△34	

(6) 国内航空

■ 7～9月実績（見込み）の『利用動向指数』は、すべての業種が2ケタのマイナスを示した。業種全体の『利用動向指数』は△51で、前期（4～6月）実績からは8ポイント上昇した。

■ 10～12月の『利用動向指数』見通しでは、全15業種中10業種でマイナス幅の縮小が見込まれるものの、大幅な改善は期待できず、業種全体の『利用動向指数』は△47と、4ポイントの上昇にとどまろう。この結果、国内航空は他の輸送機関と比べて『利用動向指数』のマイナス幅がもっとも大きく、荷動きの減退が続く見通しである。

国内航空利用の実績と見通し

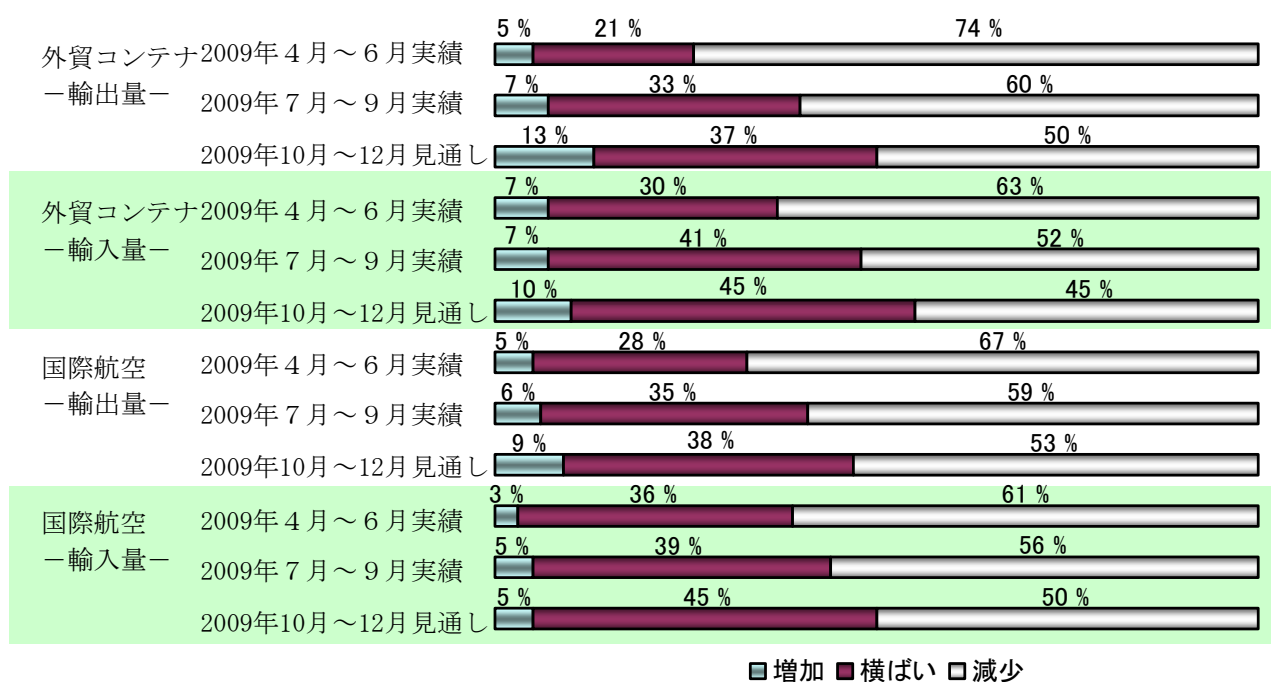
業 種	2009年7月～9月実績					2009年10月～12月見通し					
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製 造 業	食料品・飲料	23	0	70	30	△30	23	0	70	30	△30
	繊維・衣服	13	0	54	46	△46	13	0	54	46	△46
	木材・家具	10	0	50	50	△50	10	0	60	40	△40
	パルプ・紙	5	0	20	80	△80	4	0	25	75	△75
	化学・プラスチック	30	0	67	33	△33	31	0	68	32	△32
	窯業・土石	13	0	38	62	△62	13	0	46	54	△54
	鉄鋼・非鉄	22	0	55	45	△45	22	0	73	27	△27
	金属製品	16	0	37	63	△63	16	6	31	63	△57
	一般機械	47	0	47	53	△53	47	0	45	55	△55
	電気機械	70	1	34	65	△64	69	4	39	57	△53
	輸送用機械	32	3	47	50	△47	32	3	53	44	△41
	精密機械	14	0	36	64	△64	14	0	36	64	△64
その他	18	0	44	56	△56	18	0	50	50	△50	
計	313	1	46	53	△52	312	2	50	48	△46	
卸 売 業	生産財	15	0	47	53	△53	15	0	53	47	△47
	消費財	11	0	64	36	△36	11	0	64	36	△36
	計	26	0	54	46	△46	26	0	58	42	△42
合計	339	1	47	52	△51	338	1	51	48	△47	

－ 3. 輸出入貨物量の動向－

■ 7～9 月実績（見込み）の『荷動き指数』をみると、外貿コンテナおよび国際航空の輸出入とも、持ち直しの動きがみられ、とくに外貿コンテナの輸出では、前期（4～6 月）実績より 16 ポイント改善した。

■ 10～12 月の『荷動き指数』見通しについては、すべての機関でさらにマイナス幅の縮小が見込まれる。このため、最悪期は脱した模様であるが、「増加」を見込む向きは総じて 1 割前後にとどまっており、前年同期の水準を回復するには至っていない。

輸出入貨物量の実績と見通し



(1) 外貿コンテナ ー輸出ー

■ 7～9月実績（見込み）の『荷動き指数』は、すべての業種が2ケタのマイナスを示した。とくに、繊維・衣服、木材・家具など4業種では「増加」を見込む事業者は皆無で荷動きの減退が続くが、業種全体の『荷動き指数』は△53と、前期（4～6月）実績との比較では16ポイント改善した。

■ 10～12月の『荷動き指数』見通しでは、パルプ・紙がプラスに反転し、消費財卸もゼロ水準まで戻すなど、ほとんどの業種で改善の動きがみられる。業種全体の『荷動き指数』は△37とさらに16ポイントの上昇が見込まれるが、荷動きの回復にはなお遠い。

外貿コンテナによる輸出量の実績と見通し

業種	2009年7月～9月実績					2009年10月～12月見通し					
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製造業	食料品・飲料	17	6	53	41	△35	17	0	65	35	△35
	繊維・衣服	10	0	50	50	△50	10	0	50	50	△50
	木材・家具	4	0	25	75	△75	4	0	75	25	△25
	パルプ・紙	12	17	33	50	△33	11	46	18	36	10
	化学・プラスチック	64	15	33	52	△37	65	18	50	32	△14
	窯業・土石	24	12	25	63	△51	24	29	17	54	△25
	鉄鋼・非鉄	40	10	35	55	△45	40	12	33	55	△43
	金属製品	15	0	27	73	△73	15	7	20	73	△66
	一般機械	62	3	27	70	△67	62	12	23	65	△53
	電気機械	55	3	35	62	△59	55	9	40	51	△42
	輸送用機械	52	2	29	69	△67	52	13	35	52	△39
	精密機械	19	10	53	37	△27	20	20	40	40	△20
	その他	24	4	21	75	△71	24	4	42	54	△50
計	398	7	33	60	△53	399	14	36	50	△36	
卸売業	生産財	9	0	33	67	△67	9	0	44	56	△56
	消費財	7	14	57	29	△15	7	14	72	14	0
	計	16	6	44	50	△44	16	6	56	38	△32
合計	414	7	33	60	△53	415	13	37	50	△37	

(2) 外貿コンテナ ー輸入ー

■ 7～9月実績（見込み）の『荷動き指数』は、すべての業種が2ケタのマイナスを示した。業種全体の『荷動き指数』は△45で、前期（4～6月）実績からは11ポイントの上昇がみられた。

■ 10～12月の『荷動き指数』見通しでは、パルプ・紙が水面まで上昇し、消費財卸も1ケタのマイナスまで戻すなど、ほとんどの業種で改善が見込まれる。業種全体の『荷動き指数』は△35と10ポイント上昇する見通しで、荷動きの減退圧力には緩和の兆しが窺えるが、荷動きの回復には至らない。

外貿コンテナによる輸入量の実績と見通し

業種	2009年7月～9月実績					2009年10月～12月見通し					
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製造業	食料品・飲料	19	21	37	42	△ 21	19	16	42	42	△ 26
	繊維・衣服	13	0	54	46	△ 46	13	8	46	46	△ 38
	木材・家具	10	0	50	50	△ 50	10	0	60	40	△ 40
	パルプ・紙	7	14	57	29	△ 15	6	17	66	17	0
	化学・プラスチック	56	7	43	50	△ 43	57	12	56	32	△ 20
	窯業・土石	20	0	50	50	△ 50	20	15	35	50	△ 35
	鉄鋼・非鉄	27	7	37	56	△ 49	27	7	41	52	△ 45
	金属製品	15	0	53	47	△ 47	15	0	60	40	△ 40
	一般機械	57	4	33	63	△ 59	57	9	30	61	△ 52
	電気機械	60	6	37	57	△ 51	60	13	37	50	△ 37
	輸送用機械	53	9	34	57	△ 48	53	11	47	42	△ 31
	精密機械	19	5	58	37	△ 32	19	5	58	37	△ 32
その他	25	0	40	60	△ 60	25	0	48	52	△ 52	
計	381	6	41	53	△ 47	381	9	45	46	△ 37	
卸売業	生産財	14	14	43	43	△ 29	14	14	50	36	△ 22
	消費財	16	12	50	38	△ 26	16	19	56	25	△ 6
	計	30	13	47	40	△ 27	30	17	53	30	△ 13
合計	411	7	41	52	△ 45	411	10	45	45	△ 35	

(3) 国際航空 ー輸出ー

■ 7～9月実績（見込み）の『荷動き指数』は、すべての業種が2ケタのマイナスを示し、全15業種中10業種が△50もしくはそれを上回る大幅なマイナスとなった。業種全体の『荷動き指数』は△53で、前期（4～6月）実績からは9ポイント上昇した。

■ 10～12月の『荷動き指数』見通しでは、鉄鋼・非鉄などでマイナス幅が拡大するものの、消費財卸はゼロ水準まで戻し、電気機械、一般機械などでも改善が予想される。この結果、業種全体の『荷動き指数』はさらに9ポイント上昇して△44と見込まれるが、依然として荷動きの減退圧力は大きく、早急な回復は期待できない。

国際航空による輸出量の実績と見通し

業 種	2009年7月～9月実績					2009年10月～12月見通し					
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製 造 業	食料品・飲料	2	0	50	50	△50	2	0	50	50	△50
	繊維・衣服	7	0	43	57	△57	7	0	43	57	△57
	木材・家具	3	0	33	67	△67	3	0	33	67	△67
	パルプ・紙	2	0	50	50	△50	1	0	0	100	△100
	化学・プラスチック	30	6	47	47	△41	31	9	52	39	△30
	窯業・土石	11	18	36	46	△28	11	18	36	46	△28
	鉄鋼・非鉄	19	16	37	47	△31	19	15	32	53	△38
	金属製品	14	0	43	57	△57	14	7	36	57	△50
	一般機械	57	5	26	69	△64	57	7	30	63	△56
	電気機械	73	4	30	66	△62	73	11	34	55	△44
	輸送用機械	35	3	31	66	△63	35	0	43	57	△57
精密機械	20	15	35	50	△35	21	19	29	52	△33	
その他	23	9	26	65	△56	23	4	39	57	△53	
計	296	6	33	61	△55	297	9	36	55	△46	
卸 売 業	生産財	10	0	50	50	△50	10	0	50	50	△50
	消費財	9	11	67	22	△11	9	11	78	11	0
	計	19	5	58	37	△32	19	5	63	32	△27
合計	315	6	35	59	△53	316	9	38	53	△44	

(4) 国際航空 —輸入—

■ 7～9月実績（見込み）の『荷動き指数』は、回答社数の少ない木材・家具およびパルプ・紙を除くすべての業種が2ケタのマイナスとなった。業種全体の『荷動き指数』は△51で、前期（4～6月）実績からは7ポイントの上昇がみられた。

■ 10～12月の『荷動き指数』見通しでも、回答社数の少ない木材・家具およびパルプ・紙を除いてすべての業種がマイナスを示すが、消費財卸が1ケタのマイナスまで戻すなど、過半数の業種で『荷動き指数』の改善が見込まれる。しかしながら、業種全体の『荷動き指数』は△45と6ポイントの上昇にとどまり、引き続き荷動きの減退が続く見通しである。

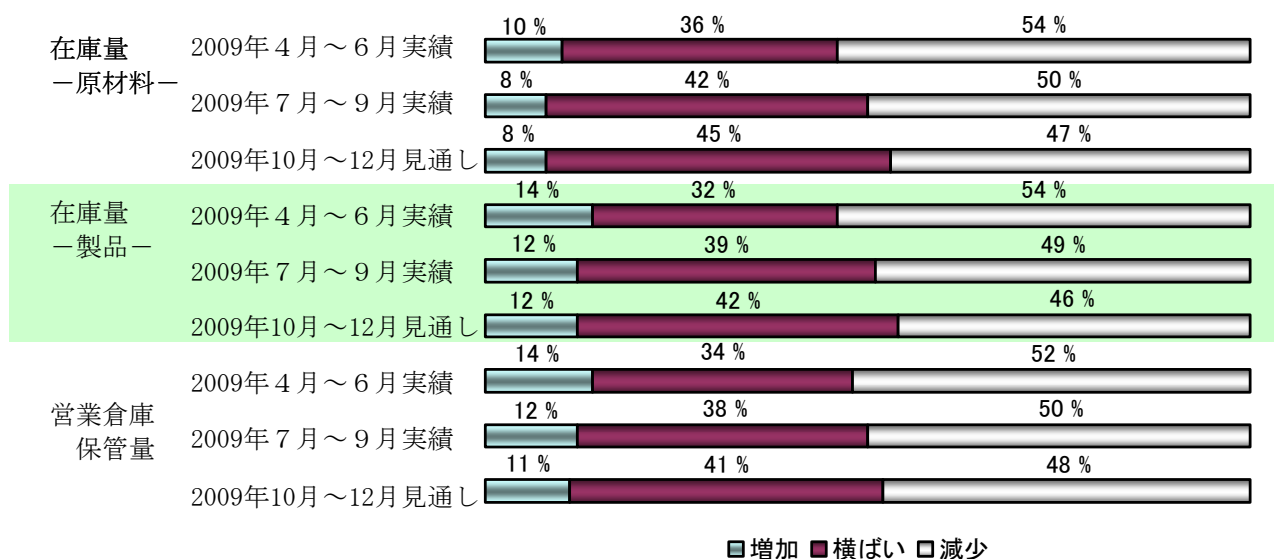
国際航空による輸入量の実績と見通し

業種	2009年7月～9月実績					2009年10月～12月見通し					
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製造業	食料品・飲料	3	0	67	33	△ 33	3	0	67	33	△ 33
	繊維・衣服	8	0	50	50	△ 50	8	0	63	37	△ 37
	木材・家具	3	0	100	0	0	3	0	100	0	0
	パルプ・紙	1	0	0	100	△ 100	0	0	0	0	0
	化学・プラスチック	27	11	41	48	△ 37	28	11	50	39	△ 28
	窯業・土石	7	0	57	43	△ 43	7	14	57	29	△ 15
	鉄鋼・非鉄	17	12	35	53	△ 41	17	6	41	53	△ 47
	金属製品	14	7	43	50	△ 43	14	7	43	50	△ 43
	一般機械	45	0	33	67	△ 67	45	0	38	62	△ 62
	電気機械	64	5	31	64	△ 59	63	8	35	57	△ 49
	輸送用機械	36	3	44	53	△ 50	36	2	56	42	△ 40
	精密機械	22	14	41	45	△ 31	22	9	41	50	△ 41
その他	25	4	24	72	△ 68	25	4	28	68	△ 64	
計	272	5	38	57	△ 52	271	5	43	52	△ 47	
卸売業	生産財	11	0	45	55	△ 55	11	0	64	36	△ 36
	消費財	11	0	73	27	△ 27	11	9	73	18	△ 9
	計	22	0	59	41	△ 41	22	5	68	27	△ 22
合計	294	5	39	56	△ 51	293	5	45	50	△ 45	

－ 4. 在庫量と営業倉庫利用の動向－

- 7～9月実績（見込み）の在庫量と営業倉庫利用の動向をみると、原材料在庫、製品在庫、営業倉庫利用とも『動向指数』は△40前後のマイナスとなった。前期（4～6月）実績との比較では、原材料在庫および製品在庫については小幅の上昇、営業倉庫利用は横ばいで推移した。
- 10～12月の見通しでは、原材料在庫、製品在庫、営業倉庫利用とも『動向指数』は総じて小幅の上昇にとどまるとみられる。このため、在庫圧縮および営業倉庫利用の削減が続く見通しである。

在庫量と営業倉庫保管量の実績と見通し



(1) 在庫量 —原材料—

■ 7～9月実績(見込み)の『在庫動向指数』は、すべての業種がマイナスを示し、生産財卸が唯一1ケタのマイナスにとどまる以外は、残りすべての業種が2ケタのマイナスとなった。業種全体の『在庫動向指数』は△42で、前期(4～6月)実績からは2ポイントの上昇がみられた。

■ 10～12月の『在庫動向指数』見通しでは、生産財卸が2ケタのマイナスに落ち込む一方、食料品・飲料が1ケタのマイナスまで戻すなど、業種によりバラツキがみられるが、業種全体の『在庫動向指数』は△39と3ポイントの上昇にとどまる。このため、原材料在庫は依然として圧縮が続く見通しである。

在庫量(原材料)の実績と見通し

業種	2009年7月～9月実績					2009年10月～12月見通し					
	回答社数	構成比(%)			在庫動向指数	回答社数	構成比(%)			在庫動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製造業	食料品・飲料	88	11	62	27	△16	88	14	63	23	△9
	繊維・衣服	40	5	45	50	△45	40	2	50	48	△46
	木材・家具	38	3	47	50	△47	38	5	50	45	△40
	パルプ・紙	40	7	48	45	△38	39	5	44	51	△46
	化学・プラスチック	110	10	46	44	△34	111	9	50	41	△32
	窯業・土石	42	7	53	40	△33	41	5	51	44	△39
	鉄鋼・非鉄	93	6	31	63	△57	93	4	40	56	△52
	金属製品	53	4	36	60	△56	53	9	40	51	△42
	一般機械	83	10	37	53	△43	83	8	36	56	△48
	電気機械	113	5	30	65	△60	113	5	37	58	△53
	輸送用機械	88	8	35	57	△49	88	7	36	57	△50
	精密機械	26	15	47	38	△23	26	15	50	35	△20
	その他	51	8	43	49	△41	51	8	51	41	△33
計	865	7	42	51	△44	864	8	45	47	△39	
卸売業	生産財	27	26	44	30	△4	27	22	45	33	△11
	消費財	20	10	55	35	△25	20	15	50	35	△20
	計	47	19	49	32	△13	47	19	47	34	△15
合計	912	8	42	50	△42	911	8	45	47	△39	

(2) 在庫量 —製品—

■ 7～9月実績（見込み）の『在庫動向指数』は、すべての業種が2ケタのマイナスを示した。業種全体の『在庫動向指数』は△37で、前期（4～6月）実績からは3ポイントの上昇がみられた。

■ 10～12月の『在庫動向指数』見通しでは、金属製品などでは改善が期待されるものの、一般機械などではマイナス幅がさらに拡大し、業種により明暗が分かれる。業種全体の『在庫動向指数』は△34と3ポイントの上昇が見込まれるものの、製品在庫は引き続き圧縮が進む見通しである。

在庫量（製品）の実績と見通し

業種	2009年7月～9月実績					2009年10月～12月見通し					
	回答社数	構成比(%)			在庫動向指数	回答社数	構成比(%)			在庫動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製造業	食料品・飲料	90	16	54	30	△14	90	14	59	27	△13
	繊維・衣服	45	20	31	49	△29	45	13	40	47	△34
	木材・家具	40	10	50	40	△30	40	9	58	33	△24
	パルプ・紙	44	11	48	41	△30	43	9	47	44	△35
	化学・プラスチック	113	15	35	50	△35	114	11	47	42	△31
	窯業・土石	43	9	37	54	△45	42	16	24	60	△44
	鉄鋼・非鉄	94	12	28	60	△48	94	9	31	60	△51
	金属製品	54	7	35	58	△51	54	22	30	48	△26
	一般機械	83	11	40	49	△38	83	9	33	58	△49
	電気機械	120	8	35	57	△49	120	7	43	50	△43
	輸送用機械	93	8	37	55	△47	93	10	37	53	△43
精密機械	26	15	38	47	△32	26	12	46	42	△30	
その他	53	15	34	51	△36	53	15	49	36	△21	
計	898	12	38	50	△38	897	11	42	47	△36	
卸売業	生産財	52	17	38	45	△28	52	13	40	47	△34
	消費財	38	13	55	32	△19	38	10	58	32	△22
	計	90	15	46	39	△24	90	12	48	40	△28
合計	988	12	39	49	△37	987	12	42	46	△34	

(3) 営業倉庫保管量

■ 7～9 月実績（見込み）の『保管動向指数』は、すべての業種がマイナスを示し、食料品・飲料が唯一1ケタのマイナスにとどまる以外は、残りすべての業種が2ケタのマイナスとなった。業種全体の『保管動向指数』は△38で、前期（4～6月）実績からは横ばいで推移した。

■ 10～12 月の『保管動向指数』見通しについては、食料品・飲料がゼロ水準まで戻すものの、残りの業種では依然として2ケタのマイナスにとどまり、業種全体の『保管動向指数』は強含み横ばいで推移しよう。このため、営業倉庫保管量は圧縮が続く見通しである。

営業倉庫保管量の実績と見通し

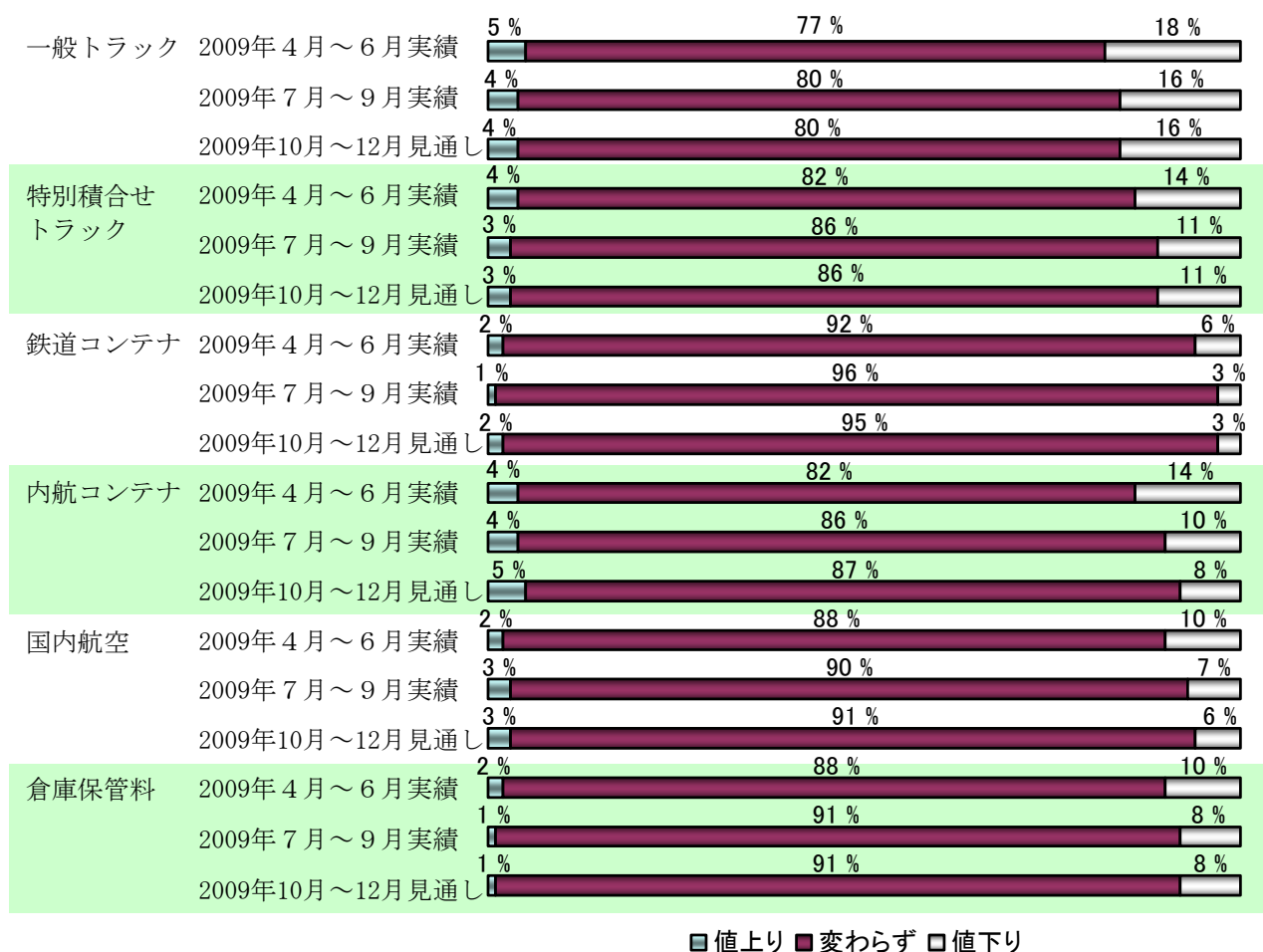
業 種	2009年7月～9月実績					2009年10月～12月見通し				
	回答社数	構成比(%)			保管動向指数	回答社数	構成比(%)			保管動向指数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
食料品・飲料	74	24	46	30	△ 6	75	28	44	28	0
繊維・衣服	26	12	23	65	△ 53	26	15	23	62	△ 47
木材・家具	29	3	34	63	△ 60	28	4	32	64	△ 60
パルプ・紙	32	12	50	38	△ 26	31	6	65	29	△ 23
化学・プラスチック	89	11	44	45	△ 34	90	11	52	37	△ 26
窯業・土石	32	15	41	44	△ 29	32	13	28	59	△ 46
鉄鋼・非鉄	60	7	38	55	△ 48	60	5	43	52	△ 47
金属製品	33	12	33	55	△ 43	33	15	33	52	△ 37
一般機械	60	11	37	52	△ 41	60	7	35	58	△ 51
電気機械	85	8	26	66	△ 58	85	3	32	65	△ 62
輸送用機械	48	8	27	65	△ 57	48	6	38	56	△ 50
精密機械	21	14	38	48	△ 34	21	19	33	48	△ 29
その他	39	18	31	51	△ 33	39	15	44	41	△ 26
計	628	12	36	52	△ 40	628	11	40	49	△ 38
卸売業										
生産財	40	17	43	40	△ 23	40	14	43	43	△ 29
消費財	32	9	57	34	△ 25	31	13	55	32	△ 19
計	72	13	49	38	△ 25	71	14	48	38	△ 24
合計	700	12	38	50	△ 38	699	11	41	48	△ 37

－ 5. 運賃・料金の動向－

■ 7～9月の運賃・料金水準『動向指数』実績（見込み）は、全機関がマイナスを示し、なかでも一般トラックは△12と2ケタのマイナスとなった。前期（4～6月）実績との比較では、全機関で僅かながら『動向指数』の上昇がみられた。

■ 10～12月の『動向指数』見通しについては、総じて横ばいないしは強含み横ばいでの推移が見込まれる。この結果、鉄道コンテナ、内航コンテナおよび国内航空では、運賃水準の引下げ圧力はいくぶん緩和されるが、一般トラック、特別積合せトラックおよび倉庫保管料では、引き続き運賃・料金水準の下押し圧力が強い。

運賃・料金の実績と見通し



(1) 一般トラック運賃

■ 7～9月実績（見込み）の『運賃動向指数』は、消費財卸が唯一プラスで、木材・家具および窯業・土石の2業種が1ケタのマイナスにとどまる以外は、残り12業種が2ケタのマイナスとなった。業種全体の『運賃動向指数』は△12で、前期（4～6月）実績からは強含み横ばいで推移した。

■ 10～12月の『運賃動向指数』見通しでは、消費財卸がマイナスに反転する以外に目立った動きはみられず、業種全体の『運賃動向指数』は横ばいで推移しよう。この結果、一般トラック運賃は低下が続く見通しで、他の機関と比べてももっとも運賃水準の引下げ圧力が大きい。

一般トラック運賃の実績と見通し

業種	2009年7月～9月実績					2009年10月～12月見通し					
	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り		
製造業	食料品・飲料	97	4	82	14	△10	97	5	81	14	△9
	繊維・衣服	41	2	81	17	△15	41	0	88	12	△12
	木材・家具	40	10	75	15	△5	40	12	73	15	△3
	パルプ・紙	45	0	84	16	△16	44	2	87	11	△9
	化学・プラスチック	113	6	78	16	△10	114	4	79	17	△13
	窯業・土石	47	0	91	9	△9	46	0	83	17	△17
	鉄鋼・非鉄	97	9	69	22	△13	96	6	71	23	△17
	金属製品	55	3	84	13	△10	55	3	82	15	△12
	一般機械	83	2	78	20	△18	83	2	79	19	△17
	電気機械	121	2	82	16	△14	120	3	82	15	△12
	輸送用機械	91	4	81	15	△11	90	2	84	14	△12
	精密機械	25	8	68	24	△16	25	8	68	24	△16
	その他	55	0	82	18	△18	55	0	85	15	△15
計	910	4	80	16	△12	906	4	80	16	△12	
卸売業	生産財	49	4	82	14	△10	49	2	82	16	△14
	消費財	44	9	89	2	7	44	5	84	11	△6
	計	93	6	85	9	△3	93	3	83	14	△11
合計	1,003	4	80	16	△12	999	4	80	16	△12	

(2) 特別積合せトラック運賃

■ 7～9月実績（見込み）の『運賃動向指数』は、消費財卸が唯一プラス、木材・家具がゼロ水準を示す以外は、残りすべての業種がマイナスとなった。業種全体の『運賃動向指数』は△8で、前期（4～6月）実績からは2ポイントの上昇がみられた。

■ 10～12月の『運賃動向指数』見通しでは、消費財卸が水面下に沈む一方、繊維・衣服やパルプ・紙などではマイナス幅が縮小するなど、業種によりバラツキがみられるが、業種全体の『運賃動向指数』は横ばいでの推移が見込まれる。この結果、運賃水準は引き続き低下する見通しである。

特別積合せトラック運賃の実績と見通し

業種	2009年7月～9月実績					2009年10月～12月見通し					
	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り		
製造業	食料品・飲料	67	4	87	9	△5	66	6	85	9	△3
	繊維・衣服	39	0	85	15	△15	39	0	90	10	△10
	木材・家具	24	8	84	8	0	24	13	74	13	0
	パルプ・紙	29	0	76	24	△24	28	4	82	14	△10
	化学・プラスチック	97	5	86	9	△4	98	4	86	10	△6
	窯業・土石	28	0	96	4	△4	28	0	96	4	△4
	鉄鋼・非鉄	64	3	83	14	△11	63	3	83	14	△11
	金属製品	40	0	83	17	△17	40	0	88	12	△12
	一般機械	69	4	84	12	△8	68	3	85	12	△9
	電気機械	102	1	89	10	△9	102	2	86	12	△10
	輸送用機械	67	1	87	12	△11	66	3	88	9	△6
	精密機械	13	0	92	8	△8	13	0	92	8	△8
	その他	45	0	89	11	△11	45	0	91	9	△9
計	684	2	86	12	△10	680	3	86	11	△8	
卸売業	生産財	40	4	83	13	△9	40	2	80	18	△16
	消費財	32	9	91	0	9	32	0	91	9	△9
	計	72	7	86	7	0	72	1	85	14	△13
合計	756	3	86	11	△8	752	3	86	11	△8	

(3) 鉄道コンテナ運賃

■ 7～9月実績（見込み）の『運賃動向指数』は、プラスを示す業種は皆無で、全15業種中8業種がゼロ水準、7業種がマイナスとなった。業種全体の『運賃動向指数』は△2で、前期（4～6月）実績からは2ポイントの上昇がみられた。

■ 10～12月の『運賃動向指数』見通しでは、電気機械がプラスに反転し、その他の製造業もゼロ水準まで戻す。業種全体の『運賃動向指数』は△1と強含み横ばいで推移する見通しで、運賃水準は下げ止まりへ向かうとみられる。

鉄道コンテナ運賃の実績と見通し

業種	2009年7月～9月実績					2009年10月～12月見通し					
	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り		
製造業	食料品・飲料	47	2	96	2	0	46	2	96	2	0
	繊維・衣服	12	0	92	8	△8	12	0	92	8	△8
	木材・家具	18	0	100	0	0	18	0	100	0	0
	パルプ・紙	28	0	93	7	△7	27	0	96	4	△4
	化学・プラスチック	75	1	98	1	0	76	0	99	1	△1
	窯業・土石	20	0	100	0	0	20	0	100	0	0
	鉄鋼・非鉄	38	3	92	5	△2	38	3	92	5	△2
	金属製品	19	0	100	0	0	19	0	100	0	0
	一般機械	26	0	96	4	△4	26	0	96	4	△4
	電気機械	34	3	91	6	△3	34	9	85	6	3
	輸送用機械	32	6	88	6	0	31	6	88	6	0
	精密機械	8	0	88	12	△12	8	0	88	12	△12
	その他	26	0	96	4	△4	26	0	100	0	0
計	383	1	95	4	△3	381	2	95	3	△1	
卸売業	生産財	12	0	100	0	0	12	0	100	0	0
	消費財	13	0	100	0	0	13	0	100	0	0
	計	25	0	100	0	0	25	0	100	0	0
合計	408	1	96	3	△2	406	2	95	3	△1	

(4) 内航コンテナ運賃

■ 7～9月実績（見込み）の『運賃動向指数』は、輸送用機械が唯一プラス、化学・プラスチックおよび消費財卸がゼロ水準で、残り12業種がマイナスとなった。業種全体の『運賃動向指数』は△6で、前期（4～6月）実績より4ポイントの上昇がみられた。

■ 10～12月の『運賃動向指数』見通しでは、輸送用機械がゼロ水準まで落ち込むものの、食料品・飲料および窯業・土石がプラスに反転することなどにより、業種全体の『運賃動向指数』は△3と3ポイントの上昇が見込まれる。このため、運賃水準の引下げ圧力は緩和される見通しである。

内航コンテナ運賃の実績と見通し

業種	2009年7月～9月実績					2009年10月～12月見通し					
	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り		
製造業	食料品・飲料	27	4	89	7	△3	26	12	85	3	9
	繊維・衣服	9	0	89	11	△11	9	0	89	11	△11
	木材・家具	11	0	82	18	△18	11	0	91	9	△9
	パルプ・紙	11	9	73	18	△9	10	10	80	10	0
	化学・プラスチック	46	9	82	9	0	47	6	85	9	△3
	窯業・土石	17	0	94	6	△6	16	12	88	0	12
	鉄鋼・非鉄	25	4	84	12	△8	25	4	88	8	△4
	金属製品	15	0	93	7	△7	15	0	93	7	△7
	一般機械	26	0	81	19	△19	26	0	81	19	△19
	電気機械	23	4	87	9	△5	23	4	87	9	△5
	輸送用機械	27	7	89	4	3	26	4	92	4	0
	精密機械	5	0	80	20	△20	5	0	80	20	△20
	その他	19	5	79	16	△11	19	5	84	11	△6
計	261	4	85	11	△7	258	5	86	9	△4	
卸売業	生産財	9	0	89	11	△11	9	0	89	11	△11
	消費財	10	0	100	0	0	10	0	100	0	0
	計	19	0	95	5	△5	19	0	95	5	△5
合計	280	4	86	10	△6	277	5	87	8	△3	

(5) 国内航空運賃

■ 7～9 月実績（見込み）の『運賃動向指数』は、消費財卸および金属製品の 2 業種がプラス、食料品・飲料など 5 業種がゼロ水準で、残り 8 業種がマイナスを示した。業種全体の『運賃動向指数』は、前期（4～6 月）実績より 4 ポイント上昇して△4 となった。

■ 10～12月の『運賃動向指数』見通しでは、一部の業種を除いて大きな動きはみられず、業種全体の『運賃動向指数』は強含み横ばいでの推移が見込まれる。この結果、運賃水準は緩やかな下降が続く見通しである。

国内航空運賃の実績と見通し

業 種	2009年7月～9月実績					2009年10月～12月見通し					
	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り		
製 造 業	食料品・飲料	22	0	100	0	0	22	0	100	0	0
	繊維・衣服	11	0	100	0	0	11	0	100	0	0
	木材・家具	8	0	88	12	△12	8	0	100	0	0
	パルプ・紙	6	0	100	0	0	5	0	100	0	0
	化学・プラスチック	30	0	97	3	△3	31	0	97	3	△3
	窯業・土石	12	0	100	0	0	12	0	100	0	0
	鉄鋼・非鉄	24	0	88	12	△12	24	0	88	12	△12
	金属製品	17	6	94	0	6	17	0	100	0	0
	一般機械	46	4	89	7	△3	46	4	89	7	△3
	電気機械	65	5	86	9	△4	65	5	83	12	△7
輸送用機械	30	3	87	10	△7	30	3	90	7	△4	
精密機械	15	0	87	13	△13	15	7	80	13	△6	
その他	20	10	80	10	0	20	10	85	5	5	
計	306	3	90	7	△4	306	2	91	7	△5	
卸 売 業	生産財	12	0	92	8	△8	12	0	92	8	△8
	消費財	13	8	92	0	8	13	8	92	0	8
	計	25	4	92	4	0	25	4	92	4	0
合計	331	3	90	7	△4	331	3	91	6	△3	

(6) 営業倉庫保管料金

■ 7～9月実績（見込み）の『料金動向指数』は、プラスの業種は皆無で、パルプ・紙が唯一ゼロ水準にとどまる以外は、残りすべての業種がマイナスを示した。業種全体の『料金動向指数』は△7で、前期（4～6月）実績からは強含み横ばいで推移した。

■ 10～12月の『料金動向指数』見通しでは、パルプ・紙も水面下に沈み、全業種がマイナスとなるものの、生産財卸や一般機械などではマイナス幅の縮小が見込まれる。この結果、業種全体の『料金動向指数』は横ばいで推移する見通しで、料金水準は低下が続くとみられる。

営業倉庫保管料金の実績と見通し

業種	2009年7月～9月実績					2009年10月～12月見通し					
	回答社数	構成比(%)			料金動向指数	回答社数	構成比(%)			料金動向指数	
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り		
製造業	食料品・飲料	62	2	92	6	△4	62	1	94	5	△4
	繊維・衣服	25	0	96	4	△4	25	4	88	8	△4
	木材・家具	24	0	96	4	△4	24	0	92	8	△8
	パルプ・紙	30	7	86	7	0	29	3	90	7	△4
	化学・プラスチック	94	0	97	3	△3	95	0	97	3	△3
	窯業・土石	27	0	89	11	△11	27	0	89	11	△11
	鉄鋼・非鉄	43	0	93	7	△7	43	0	93	7	△7
	金属製品	28	0	93	7	△7	28	0	93	7	△7
	一般機械	57	3	81	16	△13	57	1	88	11	△10
	電気機械	76	1	88	11	△10	76	1	88	11	△10
	輸送用機械	48	0	90	10	△10	48	0	92	8	△8
	精密機械	21	0	81	19	△19	21	0	76	24	△24
	その他	33	3	88	9	△6	33	3	88	9	△6
計	568	1	91	8	△7	568	1	91	8	△7	
卸売業	生産財	31	0	90	10	△10	31	0	97	3	△3
	消費財	25	0	92	8	△8	24	0	92	8	△8
	計	56	0	91	9	△9	55	0	95	5	△5
合計	624	1	91	8	△7	623	1	91	8	△7	

－ 6. 物流コスト割合の動向－

■ 売上高に対する物流コスト割合の動向について、7～9月実績（見込み）の『動向指数』は、鉄鋼・非鉄および生産財卸の2業種がプラス、木材・家具など3業種がゼロ水準にとどまる以外は、残り10業種がマイナスを示した。業種全体の『動向指数』は△6で、前期（4～6月）実績からは6ポイント低下した。

■ 10～12月の『動向指数』見通しでは、窯業・土石などでマイナス幅の縮小が見込まれる一方、化学・プラスチックなど3業種では水面下に沈むなど、業種により明暗が分かれるが、業種全体の『動向指数』は弱含み横ばいで推移しよう。この結果、物流コスト割合は低下が続く見通しである。

物流コスト割合の実績と見通し

業種	2009年7月～9月実績					2009年10月～12月見通し					
	回答社数	構成比(%)			動向指数	回答社数	構成比(%)			動向指数	
		上昇	不変	下降			上昇	不変	下降		
製造業	食料品・飲料	102	15	60	25	△10	102	12	63	25	△13
	繊維・衣服	47	17	64	19	△2	47	13	66	21	△8
	木材・家具	42	24	52	24	0	42	23	48	29	△6
	パルプ・紙	46	15	61	24	△9	46	15	65	20	△5
	化学・プラスチック	115	19	62	19	0	116	14	65	21	△7
	窯業・土石	46	19	48	33	△14	46	24	48	28	△4
	鉄鋼・非鉄	98	26	53	21	5	98	23	58	19	4
	金属製品	56	23	41	36	△13	56	23	41	36	△13
	一般機械	86	19	53	28	△9	86	15	61	24	△9
	電気機械	129	25	45	30	△5	129	17	52	31	△14
	輸送用機械	91	18	52	30	△12	91	18	52	30	△12
	精密機械	28	17	54	29	△12	28	10	61	29	△19
	その他	56	20	50	30	△10	55	20	56	24	△4
計	942	20	54	26	△6	942	17	57	26	△9	
卸売業	生産財	53	23	57	20	3	53	23	57	20	3
	消費財	48	17	66	17	0	48	16	63	21	△5
	計	101	20	61	19	1	101	20	59	21	△1
合計	1,043	20	54	26	△6	1,043	18	57	25	△7	

